



国空航第11390号
平成29年4月13日

公益社団法人日本航空機操縦士協会
会長 下枝 堯 殿

国土交通省航空局
安全部運航安全課長



横田飛行場周辺を飛行するVFR機の安全確保について

米軍の高高度滞空型無人偵察機（グローバルホーク）については、平成26年以降、三沢飛行場に一時展開されており、「三沢飛行場周辺を飛行するVFR機の安全確保について」（平成26年4月17日付け国空航第1092号）により周知をしてきたところである。

今般、三沢飛行場に一時展開されていた高高度滞空型無人偵察機が、平成29年5月1日から平成29年10月31日までの間、横田飛行場への一時展開が予定されている。

当該高高度滞空型無人偵察機は、遠隔地からの無線操縦及び自立飛行プログラムにより無人での飛行を行うことから、一層の安全を確保するため、横田飛行場周辺の飛行を予定しているVFR機の操縦者が、下記事項を確実に実施するよう、貴会会員に周知されたい。

なお、本内容については、航空路誌補足版として発行予定であり、関連情報については、ノータムが発出される予定となっていることを申し添える。

記

1. 横田飛行場周辺の飛行を予定しているVFR機の操縦者にあつては、飛行前にノータムにて情報の確認を行うとともに、ATISの聴取（横田アプローチ・コントロール内）又は関係管制機関（横田アプローチ・コントロール又は東京航空交通管制部）との通信設定を行い、当該高高度滞空型無人偵察機の運航の有無を確認すること。
2. 当該高高度滞空型無人偵察機の運航情報に接した場合、VFR機の操縦者は、ATCトランスポンダーのVFRコード（飛行高度10,000ft未満は、1200、10,000ft以上は1400）を発信するとともに、関係管制機関と無線電話により通信設定を行い、積極的に、自機の位置等運航情報を連絡し、また、管制機関によるレーダー業務（レーダー・サービス）の提供を求める等により、当該高高度滞空型無人偵察機の動向についてもモニターを実施すること。

JAPAN

MINISTRY OF LAND, INFRASTRUCTURE,

TRANSPORT AND TOURISM

CIVIL AVIATION BUREAU

AERONAUTICAL INFORMATION SERVICE CENTER

AIP SUP

NR060/17
27 APR 2017

Tel: +81-476-33-5811
Fax: +81-476-33-5509
AFTN: RJAAYNYX
E-mail:
helpdesk@ais.mlit.go.jp

060/17

無操縦者航空機（グローバルホーク）の飛行について

1. 横田飛行場周辺の空域において、無操縦者航空機の飛行が次のとおり実施される。

航空機	RQ-4（グローバルホーク）: unmanned aircraft の用語が使用される。
区域	添付図参照
飛行方式	討器飛行方式
高度	添付図参照
期間	平成 29 年 5 月 1 日 0000JST から平成 29 年 10 月 31 日 2359JST 飛行予定日時は (RJJJ) ノータムにより通知される。

2. 横田飛行場周辺の空域において飛行する航空機は次の対応が求められる。

- (1) 有視界飛行方式により当該空域に入域する際は、事前に ATIS の聴取（横田アプローチ・コントロール内の場合）又は管制機関（添付図参照）との通信設定を行い、無操縦者航空機の運航の有無を確認すること。（"unmanned aircraft operations are in progress" の用語が横田 ATIS の備考に追加される。）
- (2) 無操縦者航空機が運航される場合、有視界飛行方式により当該空域に入域する際は、ATC トランスポンダーの VFR コード（飛行高度 10,000 フィート未満は、1200、10,000 フィート以上は 1400）を発信するとともに、管制機関（添付図参照）と無線電話により通信設定を行い、積極的に、自機の位置等運航情報を連絡し、また、管制機関によるレーダー業務（レーダー・サービス）の提供を求める等により、無操縦者航空機の動向についてモニターを実施すること。

060/17

Unmanned aircraft(Global Hawk) operations

1. Unmanned aircraft operations will take place in the vicinity of Yokota aerodrome as follows

Aircraft	RQ-4(Global Hawk): Term "unmanned aircraft" is used
AREA	See attached chart
Flight Rules	IFR
Altitude	See attached chart
Period	From 1500UTC 30 APR 2017 to 1459UTC 31 OCT 2017 Expected date and time for the operations will be notified by (RJJJ) NOTAM

2. The aircraft flying in the vicinity of Yokota aerodrome will be required following action.

- (1) VFR aircraft should monitor Yokota ATIS (within YOKOTA APCH CTA) or contact ATC units (See ATTACHMENT) before entering the area and check the unmanned aircraft operations. (Yokota ATIS will broadcast "unmanned aircraft operations are in progress" in the remark section.)
- (2) During the unmanned aircraft operations, the aircraft mentioned above should squawk SSR code 1200 below 10,000 feet or 1400 at or above 10,000 feet, contact ATC units (See ATTACHMENT), make position report proactively, and request radar services or take other suitable measures to monitor the movement of the unmanned aircraft.

● AREA

A1: 1000ft-FL290

- b. 360000N/1390654E
- c. 360938N/1384644E
- i. 361700N/1390146E
- j. 360604N/1392433E
- k. 360047N/1392042E
- q. 355316N/1392216E
- p. 355626N/1390939E
- o. 355755N/1390653E

note: Except civil training and testing area KK4-1, RJTJ Control Zone

A2: 1000ft-FL290

- n. 354912N/1390651E
- o. 355755N/1390653E
- p. 355626N/1390939E

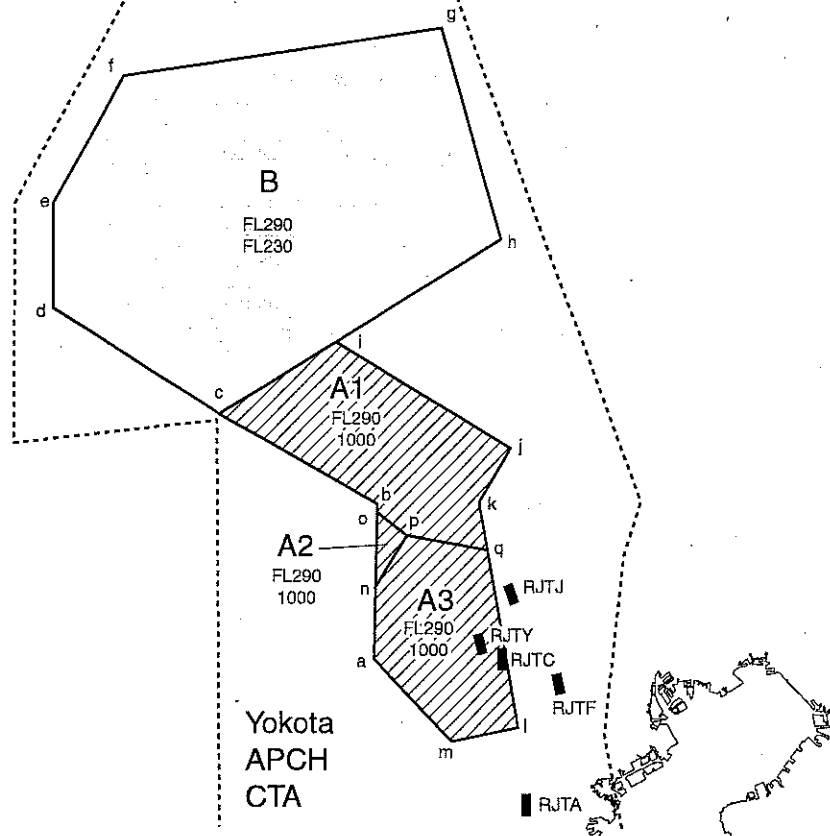
A3: 1000ft-FL290

- a. 354257N/1390649E
- n. 354912N/1390651E
- p. 355626N/1390939E
- q. 355316N/1392216E
- l. 353524N/1392601E
- m. 353354N/1391707E

note: Except RJTJ and RJTC Control Zone

B: FL230-290

- c. 360938N/1384644E
- d. 362115N/1382209E
- e. 363225N/1382209E
- f. 364622N/1383121E
- g. 365222N/1391733E
- h. 362846N/1392557E
- i. 361700N/1390146E



● ATC UNITS

	Area A1	Area A2	Area A3	Area B
Tokyo ACC	Above FL180 Freq 120.5MHz	Above FL160 Freq 120.5MHz	Above 12000ft Freq 132.1MHz	Above FL230 Freq 124.1MHz
Yokota APP/ASR	5000ft to FL180 Freq 118.3MHz 1000ft to 5000ft Freq 120.7MHz	5000ft to FL160 Freq 118.3MHz 1000ft to 5000ft Freq 120.7MHz	5000ft to 12000ft Freq 118.3MHz 1000ft to 5000ft Freq 120.7MHz	None